

学習基盤・キャリア科目

学習基盤科目とは

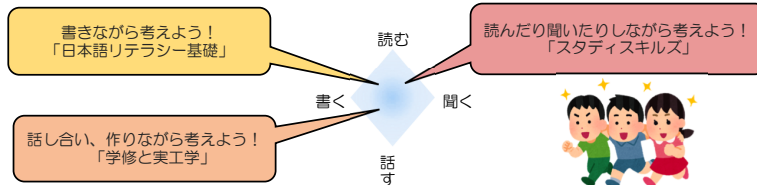
「スタディスキルズ」「学修と実工学」「日本語リテラシー基礎」「ものづくり基礎実習」からなります。このうち「スタディスキルズ」「学修と実工学」「日本語リテラシー基礎」では学びの基礎となる日本語力を高めながら、自分に合った学び方を見つけ、自ら学ぶ力を高めます。

➤ 1年春学期の履修について

- ✓ 春学期は「スタディスキルズⅠ」「学修と実工学Ⅰ」「日本語リテラシー基礎Ⅰ」が開講されます。3科目は同じ曜日・時限に開講されますので、1つだけ選んで履修してください。
- ✓ 1科目1単位です。2年終了時までに2単位以上修得することが必要です。
- ✓ 秋学期は各科目のⅡが開講されます。累進科目ではないのでⅠとⅡを続けて履修しても、違うものを履修しても構いません。

➤ 科目選択のヒント

自分自身の興味関心や、得意分野を伸ばしたい・苦手なことを克服したいなど、それぞれの必要性に応じて科目を選びましょう。ここにある説明やシラバスを参考にしてください。



「スタディスキルズⅠ」

～《わかったつもり》から《なるほど!》へ～

大学生に必要な日本語力とは何でしょうか。文学作品を読む力や、文学的な文章を書く能力が必要なのではなく、専門の講義を聞き、教科書を読み、理解し、資料から必要な情報を読み取り、レポートを書くという基本的な作業のすべてを論理的にスムーズに行える日本語力だと言えるでしょう。

本科目教材『やってみればおもしろい! 大学生のための日本語再発見』より

☆ 教室でのアクティビティ

たとえば《単語あて》では、学生同士でペアを組んで単語の説明を見て何の説明かを当てっこします。言葉によって定義されたことを多面的、多層的に理解していく練習です。そのほかにも《図形あて》《四コマ漫画あて》など、たくさんの課題にチャレンジします。

☆ 基礎をかためるドリル学習

文章を理解するのに必要な語彙力を集中的に高めます。



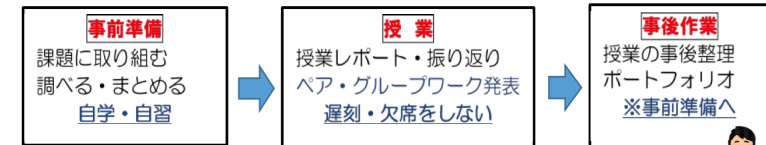
楽しく学んで、専門分野をよりよく理解できるようになるための基礎力を伸ばしましょう!

「学修と実工学Ⅰ」

～話し合い作りながら考える・自分の手で作ったものを発表する～

受動的な学習態度から能動的な学修態度へ 学習に対する考え方を変えよう!

- ❖ 高校と大学の《学びの違い》を考えます。本大学が掲げる《実工学教育》の導入段階として、ものづくりについて考え、簡単な工作を学生個人や仲間と共に制作します。
- ❖ 予習重視型の演習授業として、次の授業で行う内容を各自が準備し、授業時間外での学習を行う必要があります。
- ❖ 教室内では、ミニレクチャと合わせ、ペア・グループワークを行い、コミュニケーション力を高めます。
- ❖ 考えたことや制作した内容を発表する機会（プレゼンテーション）が多くあります。



◇ 具体的なテーマ

- ・調べて発表する：ものづくりの達人
- ・作りながら考える：つまようじタワー
- ・先端技術を知る：AI、IoT
- ・共に学ぶ仲間作り：コミュニケーションワーク



「日本語リテラシー基礎Ⅰ」

～理解したこと・説明したいことを文章にする～



「日本語リテラシー基礎Ⅰ」では、文章を書くための技術と日本語の知識を学び、文章作成の課題にも取り組みます。この授業を通じて文章を書くことに慣れ、大学で課されるレポート・論文に対応できる力を身に付けましょう。

◇ 要約文を書いてみよう

要約文とは、文章の内容を凝縮させて重要な部分をまとめたものです。まとめるためには、内容を正確に理解していなければなりません。要約文を作成しながら読解力も養い、専門的な分野を学ぶ上で必要な力も伸ばしていきましょう。

◇ 説明文を書いてみよう

建物の様子や道具の使い方など、誰かに何かを説明する場面はたくさんあります。相手に分かってもらうためには、どのような工夫が必要でしょうか。説明したい事柄に応じて書き分ける技術を学びます。

到達目標：レポートや論文を書く上で必要な技術を身に付ける ➡ 一人ずつ添削します

「ものづくり基礎実習Ⅰ」：1年向けに開講 (コア科目、選択)

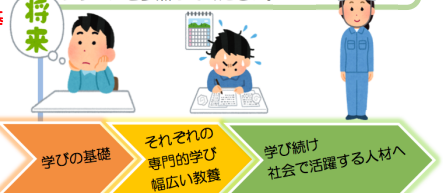
これまで実習や工作の経験が少ない方、木工・金工・電気の基礎を総合的に体験したい方向けの科目です。受講を希望する方は、以下の説明会に必ず出席してください。

- 日時：4月7日（土）11時または13時（どちらかに出席してください。）
- 場所：4号館401教室

【注意】この説明会を欠席すると受講することができません。説明会に出席できない場合は、事前にスチューデントラボへ申し出てください。

キャリア科目：2年向けに開講

具体的な授業内容などは、シラバスを参照してください。



学習基盤を形成して《つなぐ》